

普通課程

現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	35 設備施工系	科名	<b>93 住宅設備機器科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	中小規模建築物の建築設備の施工における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	250	
① 機械工学概論	40	機械要素、機構と運動、原動機及び一般機器
② 電気工学概論	40	直流及び交流回路、電流の磁気作用、電気機器、各種の電気応用
③ 建築設備機器概論	40	給排水設備、通気及び衛生設備、給湯設備、上下水道施設、ガス設備、空気調和設備、集じん装置、消防設備
④ 生産工学概論	20	品質管理、工程管理、機械・工具・資材管理
⑤ 建築構造	20	土木工事及び基礎工事、木構造、組積構造、鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨及び鉄筋コンクリート構造、
⑥ 建築製図	30	製図用機械、JIS製図通則、建築製図法
⑦ 溶接法	20	ガス溶接法、アーク溶接法
⑧ 安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法
⑨ 仕様及び積算	20	仕様書、積算
2 系基礎実技	200	
① 器工具使用法	60	ボール盤作業、グラインダ作業、はつり作業、断熱・防露作
② 溶接及びろう付	60	ガス溶接、アーク溶接、ろう付け
③ 配管基本実習	60	鋼管、ビニル管、銅管、ステンレス管、特殊管
④ 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法

二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	一般住宅の浴槽設備、給湯設備及び厨房設備等の施工における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	200	
① 燃焼化学概論	30	燃料の種類、エネルギー計算、燃焼理論
② 換気概論	30	換気の必要性、換気方法と換気設備、換気量計算
③ 住宅設備及び機器	50	各種設備及び機器の特性、選び方、機器制御の基礎、保守管理及び修理法
④ 設備製図	40	住宅設備の設計及び製図
⑤ 施工法	50	機械・工具と使用法、浴槽の据付け、各種厨房機器の据付
2 専攻実技	300	
① 設備施工実習	150	各種住宅設備の据付け、配管、タイル施工、換気・排煙工事
② 整備実習	150	住宅設備の保守管理、故障探求及び修理

計 950  
教科設定時間の割合 67.9% %

## 普通課程

## 現行の「カリキュラム表」（別表2+教科の細目表）

系	36 土木系	科名	<b>95 土木施工科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

## 一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲		一般的な土木工事及び土木施工のための測量における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目	
1 系基礎学科	250		
① 土工学概論	50	土工学について、国土の開発、水工、道路及びその構造、都市と環境	
② 測量学概論	60	距離及び角の測定、多角測量、水準測量、平板測量、スタジア測量、その他の測量	
③ 建築生産概論	40	建築の生産課程、施工管理	
④ 応用力学及び土	60	土質の構造・性質、応用力学、水理学	
⑤ 製図	20	土木製図の基礎、土木設計図	
⑥ 安全衛生	20	安全衛生管理、安全作業法、安全衛生関係法規	
2 系基礎実技	150		
① 測量基本実習	130	距離及び角の測定、多角測量、水準測量、平板測量、スタジア測量	
② 安全衛生作業法	20	安全衛生作業	

## 二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲		土木工事の施工計画の立案及び施工管理における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目	
1 専攻学科	200		
① 機械及び電気	20	土木機械の種類及び機能、主要部の構造及び操作法、土木機械操作法、土木機械の管理、電気の基礎工事現場における電気設備	
② 土木設計	70	土木構造物の設計、土木設計図及び施工図	
③ 材料	20	土木材料の種類、性質及び用途、材料試験	
④ 土木施工法	80	土工事、基礎工事、コンクリート工事、鉄筋工事、仮設工事、土木工事の計画及び施工法	
⑤ 関係法規	10	建設公害対策、その他関係法規	
2 専攻実技	300		
① 測量実習	130	距離測量、河川測量	
② 土木施工実習	170	土工事、基礎工事、コンクリート工事、鉄筋工事、仮設工事、土木工事の計画及び施工、工事の事前調査、施工計画の作成、作業の段取り及び実施、機械の運営管理、施工管理	

計 900  
教科設定時間の割合 64.3% %

普通課程

現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	36 土木系	科名	<b>96 測量・設計科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	一般的な土木工事及び土木施工のための測量における基礎的な技能及びこれに関する知識		
教科	訓練時間	教科の細目	
1 系基礎学科	250		
① 土木工学概論	50	土木工学について、国土の開発、水工、道路及びその構造、都市と環境	
② 測量学概論	60	距離及び角の測定、多角測量、水準測量、平板測量、スタジア測量、その他の測量	
③ 建築生産概論	40	建築の生産課程、施工管理	
④ 応用力学及び土	60	土質の構造・性質、応用力学、水理学	
⑤ 製図	20	土木製図の基礎、土木設計図	
⑥ 安全衛生	20	安全衛生管理、安全作業法、安全衛生関係法規	
2 系基礎実技	150		
① 測量基本実習	130	距離及び角の測定、多角測量、水準測量、平板測量、スタジア測量	
② 安全衛生作業法	20	安全衛生作業	

二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	各種の測量方法及び土木設計における技能及びこれに関する知識		
教科	訓練時間	教科の細目	
1 専攻学科	200		
① 基準点測量	50	測量学概論、測量機械概論、三角測量方式、多角測量方式、水準測量	
② 地形測量	40	平板測量、写真測量、地図編集	
③ 応用測量	50	路線測量、河川測量、土地区画整理測量	
④ 土木設計	60	土木構造物の設計	
2 専攻実技	300		
① 基準点測量実習	60	多角測量方式、水準測量	
② 地形測量実習	40	平板測量、写真測量	
③ 応用測量実習	100	距離測量、河川測量	
④ 土木設計実習	100	土木設計図の作成	

計 900  
 教科設定時間の割合 64.3% %

## 普通課程

## 現行の「カリキュラム表」（別表2＋教科の細目表）

系	37 設備管理・運転系	科名	97 ビル管理科
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

## 一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	ビル、工場等の附帯設備、ボイラー等の操作又は運転及び保守管理における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	280	
① 生産工学概論	40	工程管理、品質管理
② 自動制御	60	制御理論、制御機器の種類と用途、各種回路
③ 熱源設備	70	ボイラー・冷凍機・吸収式冷温水機等の種類・構造・機能
④ 熱管理	70	熱勘定、燃焼方法、熱量計算
⑤ 安全衛生	40	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法
2 系基礎実技	150	
① 熱源設備の保守	110	熱源設備の保守・運転・管理作業
② 安全衛生作業法	40	安全衛生作業法

## 二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	ビル、工場等の空気調和設備、給排水・衛生設備及び電気設備の保守管理における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	270	
① ビル管理概論	40	建築構造の概要、建築設備の種類、中央監視システム
② 給排水・衛生設備	50	給水方式の種類と構造、排水の種類と設備機器の構造・機能、配管方式、配管図、消防設備
③ 空気調和設備	50	熱負荷、空調方式、機器の種類と構造
④ 電気設備	80	電気理論、電灯、動力、受変電設備等の種類と機能、配線
⑤ 設備図面	30	各種建築図面の読み方、設備図面の読み方
⑥ 関係法規	20	ビル衛生管理関係法令、高圧ガス取締法、消防法、給排水関係法、ボイラー及び圧力容器安全規則
2 専攻実技	300	
① 給排水・衛生設備	60	給排水・衛生設備の点検・調整・保守・記録、管工作、水質
② 空気調和設備保	80	空気調和機及び付帯設備の保守・運転・管理作業
③ 電気設備保守管	80	電灯・受変電設備・動力・非常用電源設備の点検・保守・記録、電気工事
④ 自動制御機器保	80	自動制御機器の点検・保守

計 1000  
教科設定時間の割合 71.4% %

普通課程

現行の「カリキュラム表」（別表2＋教科の細目表）

系	37 設備管理・運転系	科名	<b>98 ボイラー運転科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	ビル、工場等の附帯設備、ボイラー等の操作又は運転及び保守管理における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	280	
① 生産工学概論	40	工程管理・品質管理
② 自動制御	60	制御理論、制御機器の種類と用途、各種回路
③ 熱源設備	70	ボイラー・冷凍機・吸収式冷温水機等の種類・構造・機能
④ 熱管理	70	熱勘定、燃焼方法、熱量計算
⑤ 安全衛生	40	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法
2 系基礎実技	150	
① 熱源設備の保守	110	熱源設備の保守・運転・管理作業
② 安全衛生作業法	40	安全衛生作業法

二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	ボイラー及びボイラー附属装置の運転及び保守における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	250	
① ボイラーの構造	50	ボイラーの種類及び型式、主要部分の構造及び強度、材料、工作、据付け、付属設備及び付属品の構造、自動制御
② ボイラーの取扱い	100	点火、使用中の留意事項、埋火、付属設備及び付属品の取扱い、ボイラー用水及びその処理、吹出し損傷及びその防
③ 燃料及び燃焼	50	燃料の種類、燃焼理論、燃焼方式及び燃焼装置、通風及び通風装置
④ 保守及び整備法	30	機械的清浄作業、化学洗浄作業、付属設備及び付属品の設備、清浄作業に使用する器工具
⑤ 関係法規	20	労働安全衛生法、労働安全衛生規則、ボイラー及び圧力容器安全規則、ボイラー構造規格
2 専攻実技	500	
① ボイラー運転実習	300	点火、燃焼の調整、付属設備及び付属品の取扱い
② 水処理実習	50	水処理、吹出し
③ 点検及び保守実習	150	損傷の防止及び措置、使用後の措置、清浄作業、点検及び異常時の処置

計 1180  
教科設定時間の割合 84.3% %

## 普通課程

## 現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	22 木材加工系	科名	<b>53 木型科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

## 一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲		木材の加工における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科		訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科		200	
①	生産工学概論	20	生産と工場、生産の合理化、生産活動の分析、計画と統制、作業の改善と標準化、品質の保証、運搬管理、原価計算、設備の保全
②	材料	40	木材の構造、乾燥法、木取り法、木質材料、金属材料、合成樹脂
③	木工用機械	40	機械要素、機構と運動、原動機、機械一般、機械工作法、電気機器及び電動装置
④	製図	30	製図一般事項、用器画法、製図通則
⑤	木材加工法	50	工作用器具、緊結及び接着法、加工工作
⑥	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法
2 系基礎実技		250	
①	器工具使用法	50	のこぎり・かな・のみ・小刀・きり等の器工具の使用法及び調整法
②	機械操作基本実習	70	機械の取扱い及び機械加工、機械刃物の研削、精度検査
③	工作基本実習	80	墨付け、接合及び継ぎ手
④	塗装基本実習	30	塗装用器工具使用法、スプレーガンによる塗装、塗装用機械設備使用法
⑤	安全衛生作業法	20	安全衛生作業法

## 二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲		鋳造用木型の製作における技能及びこれに関する知識	
教科		訓練時間	教科の細目
1 専攻学科		120	
①	電気理論	30	電流・電圧及び電力、電動機、電気器具
②	金属材料	15	鉄鋼、非鉄金属材料、非金属材料
③	鋳造法	25	鋳造の歴史、鋳造の重要性、鋳物の製造方法、鋳造方案
④	工作法	50	模型の種類、木型工作法、木型検査法
2 専攻実技		300	
①	材料選択及び木取り実習	20	適切な材料の選択、木取り・接合・木組み・成形・仕上げ・塗装・検査実習、木型の管理
②	現図実習	20	現図板の整備、見取図の書き方、基本現図の書き方
③	樹脂加工実習	50	樹脂材による型造り、型補修
④	表面処理実習	20	表面処理
⑤	木型製作実習	170	鋳造用木型の製作
⑥	検査実習	20	製品の検査実習

計 870  
教科設定時間の割合 62.1% %

普通課程 現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	22 木材加工系	科名	54 木工科
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	木材の加工における基礎的な技能及びこれに関する知識		
教科	訓練時間	教科の細目	
1 系基礎学科	200		
① 生産工学概論	20	生産と工場、生産の合理化、生産活動の分析、計画と統制、作業の改善と標準化、品質の保証、運搬管理、原価計算、設備の保全	
② 材料	40	木材の構造、乾燥法、木取り法、木質材料、金属材料、合成樹脂	
③ 木工用機械	40	機械要素、機構と運動、原動機、機械一般、機械工作法、電気機器及び電動装置	
④ 製図	30	製図一般事項、用器画法、製図通則	
⑤ 木材加工法	50	工作用器具、緊結及び接着法、加工工作	
⑥ 安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
2 系基礎実技	250		
① 器工具使用法	50	のこぎり・かななのみ・小刀・きり等の器工具の使用法及び調整法	
② 機械操作基本実	70	機械の取扱い及び機械加工、機械刃物の研削、精度検査	
③ 工作基本実習	80	墨付け、接合及び継ぎ手	
④ 塗装基本実習	30	塗装用器工具使用法、スプレーガンによる塗装、塗装用機械設備使用法	
⑤ 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	

二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	木材の加工、組立て、装飾及び塗装等木材加工品の製作及び修理における技能及びこれに関する知識		
教科	訓練時間	教科の細目	
1 専攻学科	120		
① 木工品	30	種類、名称、形態、構造、規格	
② 工作法	50	加飾工作法、木質材料、合成樹脂板、ガラス、金属、曲げ木	
③ 塗装法	30	塗装用機器、素地調整、塗料の調整、塗装作業法	
④ 仕様及び積算	10	仕様書、仕様書の作成、積算、見積り	
2 専攻実技	300		
① 設計実習	50	デザイン、設計	
② 乾燥実習	50	さん積み及び乾燥実習	
③ 塗装実習	30	木工塗装実習、工芸塗装	
④ 組立及び仕上実	50	各種仕口の総合合わせ及び素地研磨、組立補助具による工	
⑤ 木工品製作実習	120	木取り、墨付け、加工、仮組、仕上げ、部品製作、総合組立て、塗装、金具付け、検査、つりこみ、補修	

計 870  
 教科設定時間の割合 62.1% %

## 普通課程

## 現行の「カリキュラム表」（別表2＋教科の細目表）

系	23 紙加工系	科名	<b>56 紙器製造科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

## 一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	紙の加工における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	200	
① 機械工学概論	10	機械要素、機構と運動、機械一般、機械工作法
② 電気工学概論	10	電気概論
③ 紙器概論	50	紙、板紙、紙の特性、加工紙、印刷方式、製造方式、包装法、包装材料、物流システム、マーケティング
④ 生産工学概論	40	生産の形態、生産と工場、生産の合理化、計画と統制、生産活動の分析、日程計画、工程計画、品質管理
⑤ 製図	30	製図一般事項、用器画法、製図通則
⑥ 紙製品製造法	50	表面加工、紙箱、紙製容器等の作製法
⑦ 安全衛生	10	産業安全、労働衛生、安全衛生管理、具体的災害防止対策
2 系基礎実技	200	
① 機械操作基本実	180	紙器加工用機械、紙器加工用器工具使用法
② 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法

## 二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	紙製の箱及び容器等の紙製品の製造における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	180	
① 紙製容器	50	紙器の特性・分類・形態、構造と機能
② パッケージデザイ	50	色彩、展示効果、文字、イラストデザイン、構造デザイン
③ 印刷法	30	印刷方式、印刷方法
④ 紙製容器製造法	50	材料の選択、紙目、紙器用板紙の種類と構成、取り都合用紙の寸法
2 専攻実技	350	
① 裁断実習	30	採寸、取り都合、裁断加工実習
② 接合実習	10	ステッチャー、テープ止め実習
③ 接着実習	50	手貼り実習、機械貼り実習
④ 打抜き実習	60	面付け、むら取り、打抜き実習
⑤ 紙製品製造実習	200	製品企画、紙製容器製作実習
計	930	

教科設定時間の割合 66.4% %

普通課程

現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	25 プラスチック系	科名	<b>60 プラスチック製品成形科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲		プラスチックの成形及び加工における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科		訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科		170	
①	機械工学概論	30	機械要素、機構及び運動、汎用機械、仕上加工用機械及び器工具、測定法
②	電気工学概論	30	電流・電圧及び電力、電動機、電気機器、電子機器
③	プラスチック概論	30	プラスチック産業、高分子化学、プラスチックの種類と特徴
④	生産工学概論	30	生産及び工場、生産の合理化、生産活動の分析、生涯計画及び生産統制、作業の改善及び標準化、品質の保証、運搬管理、原価計算、設備の保全、職場規律
⑤	製図	30	製図一般事項、成形品の製図、金型の製図、色彩、デザイン、図面の管理、関連JIS
⑥	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法
2 系基礎実技		180	
①	測定基本実習	60	温度、長さ、重量等の測定
②	機械操作基本実習	100	プラスチック加工用機械及び付属機器の操作並びに保守管理、仕上げ作業
③	安全衛生作業法	20	安全衛生作業法

二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲		プラスチック製品の成形及び加工における技能及びこれに関する知識	
教科		訓練時間	教科の細目
1 専攻学科		260	
①	プラスチック成形機械の構造	60	成形機械一般、射出成形機、圧縮成形機、押出成形機、ブロー成形機、熟成形機、その他の成形機、成形用各種付属金型一般、金型用材料、金型工作法、射出成形用金型、圧縮成形用金型、押出成形用金型、ブロー成形用金型、熟成形用金型、その他の成形用金型、検査法、関連JIS
②	成形用金型の構造	60	材料一般、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、副材料、プラスチックの物性、試験法、関連JIS
③	材料	60	成形法一般、射出成形法、圧縮成形法、押出成形法、ブロー成形法、熟成形法、その他の成形法、二次加工法
④	プラスチック成形及び加工法	80	
2 専攻実技		250	
①	金型の装着及び修正実習	30	金型着脱作業、金型修正作業、金型検査作業、金型の保守管理作業
②	プラスチック成型及び加工実習	140	射出成形実習、圧縮成形実習、押出成形実習、ブロー成形実習、熟成形実習、各種試験
③	仕上実習	60	仕上加工作業、二次加工作業
④	検査実習	20	寸法測定、重量測定、形状検査
計		860	

教科設定時間の割合 61.4% %

## 普通課程

## 現行の「カリキュラム表」（別表2+教科の細目表）

系	26 レザー加工系	科名	<b>61 靴製造科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

## 一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	各種革の加工及び縫製等における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	200	
① 製革概論	40	皮革の処理法、加工法、なめし加工工程の概要
② 生産工学概論	30	品質管理、工程管理
③ 材料	40	革の種類と特性、用途、副資材、消耗材料
④ 皮革製品知識	55	各種皮革製品の種類・特性、皮革の歴史
⑤ 安全衛生	15	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法
⑥ 仕様及び積算	20	製品の仕様、積算
2 系基礎実技	250	
① 材料の選別及び	30	革の選別、革の処理
② 革すき基本実習	50	機械すき、手すき、切込み、へり返し、折り込み
③ 裁断基本実習	30	材料検査、型入れ、裁断
④ 縫製基本実習	120	直線縫い、曲線縫い、特殊縫製
⑤ 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法

## 二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	紳士靴及び婦人靴の製作に必要な企画及びデザイン並びに靴の製作における技能並びにこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	150	
① 製靴機械	25	製靴用機械の種類、用途及び機能
② 製靴デザイン	25	商品企画、各種靴のデザイン
③ 型紙製作法	25	各種靴の型紙の製作
④ 製靴法	75	製甲法、底付け法、材料取りの方法、各種の工作法
2 専攻実技	400	
① 紳士靴製甲実習	95	紳士靴甲型入れ、裁断、革すき、折込み、縫製、仕上げ、特殊マシン作業
② 婦人靴製甲実習	95	婦人靴甲型入れ、裁断、革すき、折込み、縫製、仕上げ、特殊マシン作業
③ 紳士靴底付け実習	95	紳士靴の採寸、裁断、皮すき、釣込み、起毛、仕上げ、グッドイヤー式、マッケー式、セメント式各加工法
④ 婦人靴底付け実習	95	婦人靴の採寸、裁断、皮すき、釣込み、起毛、仕上げ、グッドイヤー式、マッケー式、セメント式各加工法
⑤ 検査実習	20	製品の検査

計 1000  
教科設定時間の割合 71.4% %

普通課程

現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	26 レザー加工系	科名	<b>62 鞆製造科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	各種革の加工及び縫製等における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	200	
① 製革概論	40	皮革の処理法、加工法、なめし加工工程の概要
② 生産工学概論	30	品質管理、工程管理
③ 材料	40	革の種類と特性、用途、副資材、消耗材料
④ 皮革製品知識	55	各種皮革製品の種類・特性、皮革の歴史
⑤ 安全衛生	15	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法
⑥ 仕様及び積算	20	製品の仕様、積算
2 系基礎実技	250	
① 材料の選別及び	30	革の選別、革の処理
② 革すき基本実習	50	機械すき、手すき、切込み、へり返し、折り込み
③ 裁断基本実習	30	材料検査、型入れ、裁断
④ 縫製基本実習	120	直線縫い、曲線縫い、特殊縫製
⑤ 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法

二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	鞆、袋物等の製作に必要な企画及びデザイン並びにこれらの製作における技能並びにこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	150	
① 革製品製造機械	25	革製品製造用機械の種類、用途及び機能
② 装飾法及びデザイ	25	ハンドバッグ、カバン、衣料等のデザイン
③ 型紙製作法	25	鞆・袋物等の型紙の製作
④ 革製品製造法	75	革加工用器工具使用法、材料取りの方法、各種工作法
2 専攻実技	400	
① 機械加工実習	50	革加工用機械、革加工用器工具使用法
② 鞆製造実習	190	ハンドバッグ、カバン等の型入れ・裁断・革すき・縫製・仕上
③ 革小物製造実習	140	ハンドバッグ、カバン等の付属革小物の加工
④ 検査実習	20	ハンドバッグ、カバン等の検査

計 1000  
教科設定時間の割合 71.4% %

## 普通課程

## 現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	27 ガラス加工系	科名	<b>63 ガラス製品製造科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

## 一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	ガラスの加工における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	200	
① 機械工学概論	60	機械要素、機構及び運動、原動機、機械一般
② 電気工学概論	20	直流及び交流回路、電流の磁気作用、電気機器、電気計器、各種の電気応用
③ 生産工学概論	30	工程管理、品質管理、原価管理、生産システム管理
④ 無機工業化学	25	ガラスの性質、ガラスの構造、ガラスの組織
⑤ 材料	20	原料の調合の概論
⑥ ガラス金型の基	35	金型設計、溶解の概論、徐冷炉機能の概要
⑦ 安全衛生	10	労働衛生、安全衛生管理、関係法規
2 系基礎実技	250	
① 機械操作基本実	135	計装機器操作実習、機械整備実習、機械操作実習
② ガラス加工基本実習	100	溶解炉操作実習、溶解、手吹き、プレス、その他、瓶及び食器等の成形実習
③ 安全衛生作業法	15	安全衛生実習

## 二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	ガラス製品製造機械の取扱い及び各種ガラス製品の製造における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	150	
① ガラス製品製造	60	ガラス製品製造機械の構造、調整、取扱い
② ガラス製品製造	90	瓶及び食器成形、ガラス製品製造
2 専攻実技	350	
① ガラス製品製造	300	ガラス素地の製造、ガラス製品の製造、ガラス製品の加工
② 検査実習	50	ガラス品質検査実習、ガラス製品検査実習

計 950  
教科設定時間の割合 67.9% %

普通課程

現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	28 窯業製品系	科名	<b>64 ほうろう製品製造科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	窯業原料の種類及び性質並びにデザイン、施ゆう、焼成等の窯業製品加工における基礎的な技能並びにこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	180	
① 機械工学概論	10	機械要素、機構及び運動、原動機、機械一般
② 電気工学概論	10	直流及び交流回路、電流の磁気作用、電気機器、電気計器、各種の電気応用
③ 窯業学概論	30	窯業製品と文化・歴史・製品製造、ファインセラミックスの概
④ 生産工学概論	30	生産と工場、生産の合理化、生産活動の分析、計画と統制、品質の保証、原価計算
⑤ 美術工芸史	30	日本・東洋・西洋の窯業の歴史
⑥ 材料	30	岩石、窯業原料の種類
⑦ デザイン	30	デザイン概論、企業におけるデザイン、デザインのプロセス、機能とデザイン、商品企画
⑧ 安全衛生	10	産業安全、保健衛生、労働安全、製造工程の安全と衛生
2 系基礎実技	220	
① デザイン基本実習	80	製図、構成演習、製品企画とその試作
② ゆう薬調整実習	60	ゆう薬調整、テストピース作り
③ 施ゆう実習	20	施ゆう実習
④ 焼成実習	50	窯詰めと焼成作業
⑤ 安全衛生作業法	10	安全衛生作業

二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	ほうろう製品の素地加工、前処理、施ゆう、焼成及び装飾等における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	100	
① ほうろう製品製造	10	ほうろう製品製造機械の種類、ほうろう製品製造機械の操
② ほうろう製品製造	90	ほうろう製品の概要、ほうろう製品の製造法
2 専攻実技	400	
① ほうろう製品製造	390	ほうろう製品製造実習
② 検査実習	10	素焼品の検査と整理、焼成品の検査と整理
計	900	
教科設定時間の割合	64.3%	%

## 普通課程

## 現行の「カリキュラム表」（別表2＋教科の細目表）

系	28 窯業製品系	科名	<b>65 陶磁器製造科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

## 一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	窯業原料の種類及び性質並びにデザイン、施ゆう、焼成等の窯業製品加工における基礎的な技能並びにこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	180	
① 機械工学概論	10	機械要素、機構及び運動、原動機、機械一般
② 電気工学概論	10	直流及び交流回路、電流の磁気作用、電気機器、電気計器、各種の電気応用
③ 窯業学概論	30	窯業製品と文化・歴史・製品製造、ファインセラミックスの概
④ 生産工学概論	30	生産と工場、生産の合理化、生産活動の分析、計画と統制、品質の保証、原価計算
⑤ 美術工芸史	30	日本・東洋・西洋の窯業の歴史
⑥ 材料	30	岩石、窯業原料の種類
⑦ デザイン	30	デザイン概論、企業におけるデザイン、デザインのプロセス、機能とデザイン、商品企画
⑧ 安全衛生	10	産業安全、保健衛生、労働安全、製造工程の安全と衛生
2 系基礎実技	220	
① デザイン基本実習	80	製図、構成演習、製品企画とその試作
② ゆう薬調整実習	60	ゆう薬調整、テストピース作り
③ 施ゆう実習	20	施ゆう実習
④ 焼成実習	50	窯詰めと焼成作業
⑤ 安全衛生作業法	10	安全衛生作業

## 二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	陶磁器に関するデザイン、原料の調合、成形、絵付け、施ゆう及び焼成等における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	100	
① 陶磁器製造機械	10	陶磁器製造機械の種類、陶磁器製造機械操作法
② 陶磁器製造法	90	陶磁器の分類、原料の処理と素地配合、成形法、石膏と石膏型・乾燥、焼成、温度の測定、装飾法、特殊ゆう薬の調合
2 専攻実技	400	
① 陶磁器製造実習	390	陶磁器製造実習
② 検査実習	10	素焼品の検査と整理、焼成品の検査と整理
計	900	

教科設定時間の割合 64.3% %

普通課程

現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	29 石材系	科名	<b>66 石材加工科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	石材の加工における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	200	
① 機械工学概論	20	機械要素、機構及び運動、原動機、機械一般
② 電気工学概論	20	直流及び交流回路、電流の磁気作用、電気機器、電気計器、各種の電気応用
③ 石材概論	60	採石、石材加工、石積み、石張りの概要
④ 建築生産概論	40	建築生産の歴史、特質、生産過程、工程管理、品質管理、労務管理、近代化
⑤ 材料	40	岩石の種類、産地、特殊、用途、性質
⑥ 安全衛生	20	労働衛生、安全衛生管理、関係法規
2 系基礎実技	150	
① 器工具使用法	80	器工具の選択、手工具の手入れ、器工具の種類、器工具の使用法
② 機械操作基本実	50	石材加工用機械の操作実習
③ 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法

二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	石碑、石像等の石材製品の加工における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	220	
① 石材製品概論	20	石製品の歴史、石製品の種類及び材種別用途の概要
② 設計及び製図	40	用器画法、石製品のデザイン、文字及び書体、透視図、平面図、立面図、断面図
③ 石材加工法	80	灯ろう、石碑、石塔、石像、彫刻、字彫り
④ 石製品の据付法	20	測量、基礎、据付け、化粧仕上げ
⑤ 関係法規	20	労働安全衛生法等
⑥ 仕様及び積算	40	仕様、積算
2 専攻実技	350	
① 石材加工実習	200	石材加工実習
② 石製品据付実習	150	据付実習

計 920  
 教科設定時間の割合 65.7% %

## 普通課程

## 現行の「カリキュラム表」（別表2＋教科の細目表）

系	40 工芸系	科名	<b>104 木材工芸科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

## 一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	美術工芸品の製作における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	140	
① 生産工学概論	40	品質管理、工程管理、品質の保証、作業の改善と標準化
② 美術工芸誌	40	伝統工芸の歴史と現状、伝統産業の振興
③ デザイン	40	デザイン一般、図形とその表現、製図の基礎、図の構成
④ 安全衛生	20	産業安全、労働衛生、安全衛生管理の実際、具体的災害防止対策
2 系基礎実技	100	
① 器工具基本使用	20	計測器及び器工具の取扱い
② 機械操作基本実	20	各種工芸用機械の取扱い
③ デザイン実習	40	形態の表現技法、色彩
④ 安全衛生作業法	20	安全衛生作業

## 二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	木材工芸品の製作における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	240	
① 材料	80	木材の種類、特徴及び用途、その他の材料
② 木材工芸品	40	木材工芸品の種類、加工の方法
③ 工作法	80	器工具の種類・取扱い及び加工法、木材の接合法及び素地製作の方法
④ 塗装法	40	塗料の種類、塗装及び彩飾の方法
2 専攻実技	360	
① 器工具使用法	40	各種器工具の取扱い法、手入れ法、刃物研磨
② 素地製作実習	80	木工機械の取扱い、電動工具の取扱い
③ 素描及び彫刻実	40	素描の方法、丸彫、浮彫、平彫
④ 工作実習	120	曲物、挽物、寄木、象嵌、張物
⑤ 仕上実習	80	毛筆画、素地調整、目止め、彩色、絵付け
計	840	

教科設定時間の割合 60.0% %

普通課程

現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	40 工芸系	科名	<b>105 竹工芸科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	美術工芸品の製作における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	140	
① 生産工学概論	40	品質管理、工程管理、品質の保証、作業の改善と標準化
② 美術工芸史	40	伝統工芸の歴史と現状、伝統産業の振興
③ デザイン	40	デザイン一般、図形とその表現、製図の基礎、図の構成
④ 安全衛生	20	産業安全、労働衛生、安全衛生管理の実際、具体的災害防止対策
2 系基礎実技	100	
① 器工具基本使用	20	計測器及び器工具の取扱い
② 機械操作基本実	20	各種工芸用機械の取扱い
③ デザイン実習	40	形態の表現技法、色彩
④ 安全衛生作業法	20	安全衛生作業

二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	竹、とう等の製品の製作における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	240	
① 材料	40	竹材、籐材の種類・性質・用途・伐採・漂白・油抜き等
② 工作用機械	20	機械一般、竹工機械の種類、構造及び用途
③ 工作法	120	材料加工法、編組加工法、仕上加工法
④ 染色法	20	染料の種類、染色法
⑤ 塗装法	20	塗料の種類、塗装法
⑥ 仕様及び積算	20	竹工芸品の仕様及び積算方法
2 専攻実技	360	
① 器工具使用法	40	各種器工具の取扱い法、手入れ法、刃物研磨
② 機械操作実習	20	竹工機械の取扱い、電動工具の取扱い
③ 材料の選別及び	40	材料の選抜・洗浄・乾燥・保管
④ 材料加工実習	120	切断、竹剥ぎ、竹割り、研磨、幅取り、うらすぎ、曲げ
⑤ 編組実習	100	各種編組作業、底編み、立上げ、胴作り、縁止め
⑥ 仕上実習	40	着色、さび付け、つや出し

計 840  
 教科設定時間の割合 60.0% %

## 普通課程

## 現行の「カリキュラム表」（別表2＋教科の細目表）

系	40 工芸系	科名	<b>106 漆器科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

## 一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	美術工芸品の製作における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	140	
① 生産工学概論	40	品質管理、工程管理、品質の保証、作業の改善と標準化
② 美術工芸史	40	伝統工芸の歴史と現状、伝統産業の振興
③ デザイン	40	デザイン一般、図形とその表現、製図の基礎、図の構成
④ 安全衛生	20	産業安全、労働衛生、安全衛生管理の実際、具体的災害防止対策
2 系基礎実技	100	
① 器工具基本使用	20	計測器及び器工具の取扱い
② 機械操作基本実	20	各種工芸用機械の取扱い
③ デザイン実習	40	形態の表現技法、色彩
④ 安全衛生作業法	20	安全衛生作業

## 二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	漆塗り及び漆器の加飾における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	240	
① 工芸化学	40	化学加飾用材料の種類、特徴及び用途
② 材料	40	素地の種類・性質・特徴
③ 工作法	100	漆器の下地製作法、彫刻法、漆器の加飾
④ 漆塗装法	60	漆液の種類・成分・調整法・使用法、下塗り・中塗り及び上塗り、花塗り及び三色塗り、変り塗り
2 専攻実技	360	
① 器工具使用法	40	器工具の取扱い法、手入れ法
② 機械操作実習	40	漆加工用機械の使用法
③ 下地調整実習	80	目止め及び紙着せ、板物及びくり物の下地の地付け
④ 漆塗装実習	200	漆液の調整実習、漆はけの切出し、漆こし、下塗り・中塗り及び上塗り、花塗り及び三色塗り、変り塗り

計 840  
教科設定時間の割合 60.0% %

普通課程

現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	40 工芸系	科名	<b>107 貴金属・宝石科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	美術工芸品の製作における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	140	
① 生産工学概論	40	品質管理、工程管理、品質の保証、作業の改善と標準化
② 美術工芸史	40	伝統工芸の歴史と現状、伝統産業の振興
③ デザイン	40	デザイン一般、図形とその表現、製図の基礎、図の構成
④ 安全衛生	20	産業安全、労働衛生、安全衛生管理の実際、具体的災害防止対策
2 系基礎実技	100	
① 器工具基本使用	20	計測器及び器工具の取扱い
② 機械操作基本実	20	各種工芸用機械の取扱い
③ デザイン実習	40	形態の表現技法、色彩
④ 安全衛生作業法	20	安全衛生作業

二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	金属の彫刻品及び装身具等の製作並びに宝石の加工における技能並びにこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	240	
① 機械及び電気	20	機械一般、宝飾機械の種類、構造及び用途
② 材料	40	金属、貴金属及び宝石の種類・性質・用途、ろう材、合金法
③ 宝飾デザイン	40	宝石の種類を描き分け、材質の描き分け等
④ 工作法	100	機械加工法、手加工法
⑤ 表面処理及び着	40	研磨、めつき、薬品処理
2 専攻実技	360	
① 器工具使用法	40	各種器工具の取扱い、手入れ
② 機械操作実習	40	宝飾機械等の取扱い
③ 金属加工実習	160	つい金・板金・熱処理・彫金・飾り金具及び装身具工作法
④ 宝飾加工実習	120	原図の作画、宝石の加工実習
計	840	

教科設定時間の割合 60.0% %

## 普通課程

## 現行の「カリキュラム表」(別表2+教科の細目表)

系	40 工芸系	科名	<b>108 印章彫刻科</b>
		訓練期間	1年
		総時間	1400H

## 一 系基礎科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	美術工芸品の製作における基礎的な技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 系基礎学科	140	
① 生産工学概論	40	品質管理、工程管理、品質の保証、作業の改善と標準化
② 美術工芸史	40	伝統工芸の歴史と現状、伝統産業の振興
③ デザイン	40	デザイン一般、図形とその表現、製図の基礎、図の構成
④ 安全衛生	20	産業安全、労働衛生、安全衛生管理の実際、具体的災害防止対策
2 系基礎実技	100	
① 器工具基本使用	20	計測器及び器工具の取扱い
② 機械操作基本実	20	各種工芸用機械の取扱い
③ デザイン実習	40	形態の表現技法、色彩
④ 安全衛生作業法	20	安全衛生作業

## 二 専攻科目

訓練の対象となる技能及び知識の範囲	印章の彫刻における技能及びこれに関する知識	
教科	訓練時間	教科の細目
1 専攻学科	240	
① 印章及び文字	40	印章の意義・種類・用途、印章文字、習字、関係法規
② 材料	20	石材、木材、骨材、角材、ゴム
③ 彫刻法	80	印面調整、印影法、彫刻施工法
④ 布字法	60	用具、辞典の引き方
⑤ 印章鑄造法	20	鑄造ゴム印の歴史、種類及び用途
⑥ 仕様及び積算	20	印章の仕様及び積算
2 専攻実技	360	
① 器工具使用法	40	各種器工具の取扱い法、手入れ法、刃物研磨
② 機械操作実習	40	鑄造機械・彫刻機械の取扱い
③ 布字実習	120	印面調整、字割り、字入れ、印稿作成
④ 彫刻実習	160	荒彫り、仕上げ、補刀
計	840	

教科設定時間の割合 60.0% %

